

地域で防災力を高めるには？

区政モニター会議

(平成30年度 第1回)

平成30年6月30日(土)
北とぴあ スカイホール

北区防災課

1

本日の資料

- 1 パワーポイント資料（本資料）
- 2 北区ニュース(防災特集号) 5/20付
- 3 北区防災地図
- 4 北区防災気象情報メール 案内チラシ
- 5 防災用品あっせん 案内チラシ

第1回目のテーマ

**地域で
防災力を高めるには
どうしたらよいのでしょうか？**

個人ではなく地域で = 共同、協同、協働・・・。
防災力 = 自然災害によって受ける被害を軽減するための対応力。
どうしたら = How To、方法論、知識、知恵・・・。

災害とは？

地震や風水害による河川の氾濫など、
異常な自然現象などによって
社会生活や人命に受ける被害。

鬼怒川の決壊(27年9月)



熊本地震(28年4月)



台風21号(29年10月)

ひょう(29年7月)

大雪(30年1月)



九州北部豪雨(29年7月)

災害への備えは万全？

(地震の場合)

- ・寝室は安全かしら？
- ・台所の火元は大丈夫？
- ・家具やTVが飛んでくるらしい・・・(ケガは？)
- ・電気は？ガスは？水道は？
- ・家族との連絡は？
- ・近所の身体が不自由な方は大丈夫？
- ・のどが渴いた！水は？
- ・食べ物はあるの？私は偏食気味なのだが・・・
- ・どこへ逃げるの？
- ・トイレは！トイレよ！水が流れないのよ！
- ・誰か助けに来てよ！
- ・ペットは大丈夫・・・
- ・子どもは？孫は？
- ・このまちはどうなっているの？教えて！



一人ひとりで
できることがあるのでは？

備えの役割分担？

自助

自分と家族の命を守るための備え
(例)備蓄、家具の転倒防止、初期消火、etc

共助

自分のまちを守るための備え
(例)防災訓練、見守り、避難所の開設訓練、etc

公助

区民の命、身体、財産を守るための備え
(例)飲料水、食べ物の確保、医療救護所の開設、
災害廃棄物の処理、避難所の耐震化、etc

自分の命は自分で守る！

(地震の場合)

- **家の周りの点検** (ブロック塀、植木の落下)
- **家具の転倒防止** (家具の固定)
- **家族会議** (避難場所や連絡方法の確認)
- **家庭内備蓄** (飲み水と食糧の確保:最低三日分)
- **消火器の設置** (火を出さない)
- **耐震診断** (自宅の耐震補強)
- **近所との協力体制** (声の掛け合い)
- **避難所へ行く際には**
ブレーカーのスイッチを落とす (感震ブレーカー)
- **持出し品の準備** (薬、メガネなど)

自分のまちは自分たちで守る！

（自主防災組織を中心に）

※町会・自治会を中心とした地域の防災組織

避難所の
開設・運営

防災訓練

安否確認

防災知識
の普及

他団体と
連携した
防災対策

各種訓練

初期
消火活動

備 蓄

隣接町会
との連携

区との
連携

資機材の
操作訓練

消防・警察
との連携

災害危険
の把握

公助の備えとは？



公助の備えとは？

(主なもの)

地震が発生した場合、震度5以上であれば、あらかじめ指定された職員が、区役所、避難所、地区本部である地域振興室などに自動参集。そのほか、毎日、区の管理職が宿直(防災センターに)。

主な資機材
ろ水機、炊き出しセット、給水タンク、ポリタンク、発電機、投光器、テント、スコップ、仮設便所、マンホールトイレ、簡易トイレ、リヤカー、食器セットほか

区からの災害情報は、夕焼けチャイムの防災行政無線のほか、ホームページ、北区防災気象情報メール、北区防災アプリなどで提供。国からは、緊急地震速報、Jアラートなどがある。また、区からTV局へ情報提供。

主な備蓄品
水、アルファ米、おかゆ、パン、クラッカー、粉ミルク
毛布、カーペット、下着、紙おむつ(大人用も)、哺乳瓶、トイレトペーパー、生理用品、三角巾、さらし布、その他

59の避難所及び12の備蓄倉庫に、飲み水、食糧、日用品等を備蓄。

飲料水については、3台の給水車により避難所へ届ける予定。備蓄品には、トイレ、紙おむつ、生理用品、ペットフードなどもあり。

災害時には、医療機関に5か所の緊急医療救護所と、7つの避難所に医療救護所ができる。医師、看護師、薬剤師等がけが人のケアを担う。また、妊産婦のための妊婦救護所の設置を予定。

コーヒーブレイク

いま、災害時の避難所に、**女性の視点**が大切だと言われています。

ある避難所に、**仮設トイレが20台**ありました。
自主防災組織の役員4人の方が、次のような
設置方法を考えました。

あなたの考えに近いものはどれでしょうか？

- 1 男性用10台、女性用10台**
- 2 男性用6台、女性用12台、男女共用2台**
- 3 男女共用20台**
- 4 女性用20台**

グループ討議のテーマ

(1) 自助(個人)として
どのような備えができますか？

(2) 共助(地域)として
どのような備えを みんなで
考えるべきでしょうか？